

# 「いちかわTMOアドバンス研究」



## 街かどエコステーション 「みんなの作業所<sup>※仮称</sup>」の開設



～地球は先祖から譲り受けたものではない。

子孫から借りているものだ～

2022年7月

三浦栄治

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 起案者:三浦栄治

### 略歴

昭和38年4月29日生まれ 横浜出身

大学にて証券市場論を専攻→資産運用業界へ就職

野村証券、野村アセットマネジメントで34年間勤務

在職中、ESG/SDGsに取り組む企業を中心に株式を運用、

ファンドの組成に参画。(右:運用状況)

2021年3月、野村アセットマネジメント(株)

を退任、現在は野村証券(株)顧問



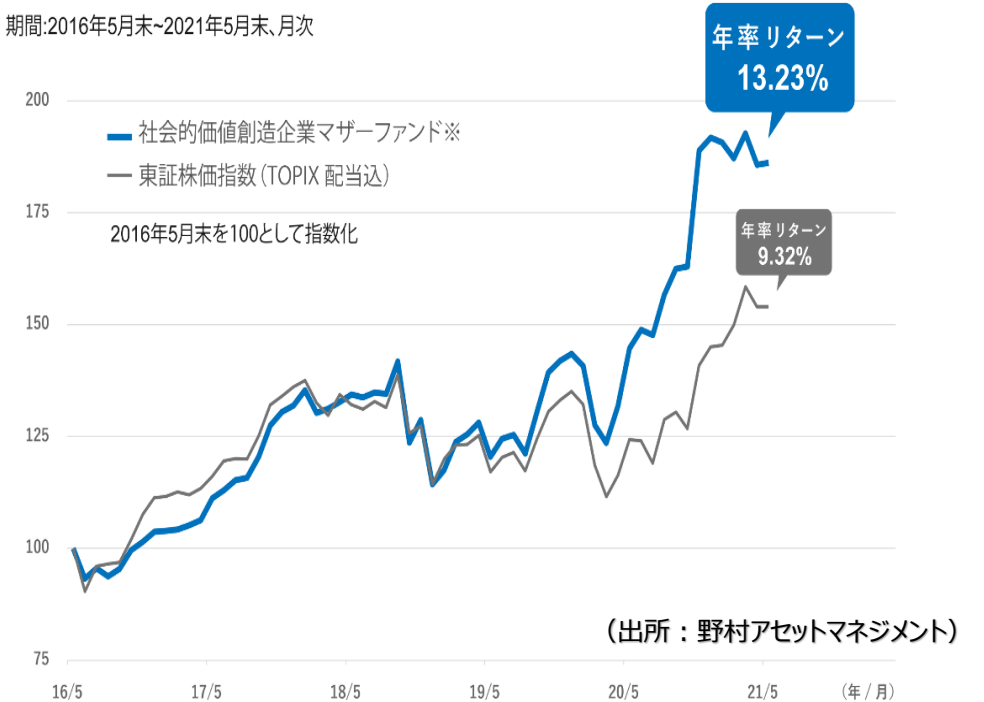
※じゅんかんパートナー:市川市廃棄物減量等推進員(任期2年)

※市川市地球温暖化対策推進協議会 会員

## 運用開始から5年が経過、『日本株』×『ESG投資』の先駆け!

### マザーファンドと東証株価指数(TOPIX)のパフォーマンス推移

期間:2016年5月末~2021年5月末、月次



### ファンドのパフォーマンスで感じたこと

世界的にもこの3年間でESG、SDGsへの意識が急速に高まっている。地球温暖化、環境破壊、紛争、差別、貧困などの問題解決を、企業にも求められているということ。

# ゴミ（粗大ごみ・生ごみ）を減らそう！アップサイクリングのススメ



## 「街かどエコステーション・みんなの作業所（仮称）」を開設

現在の「3つのR」から「3つのR+R」へ

Reduce（リデュース）：「廃棄物の発生抑制」

Reuse（リユース）：「再利用、または使わない人から使う人へ」

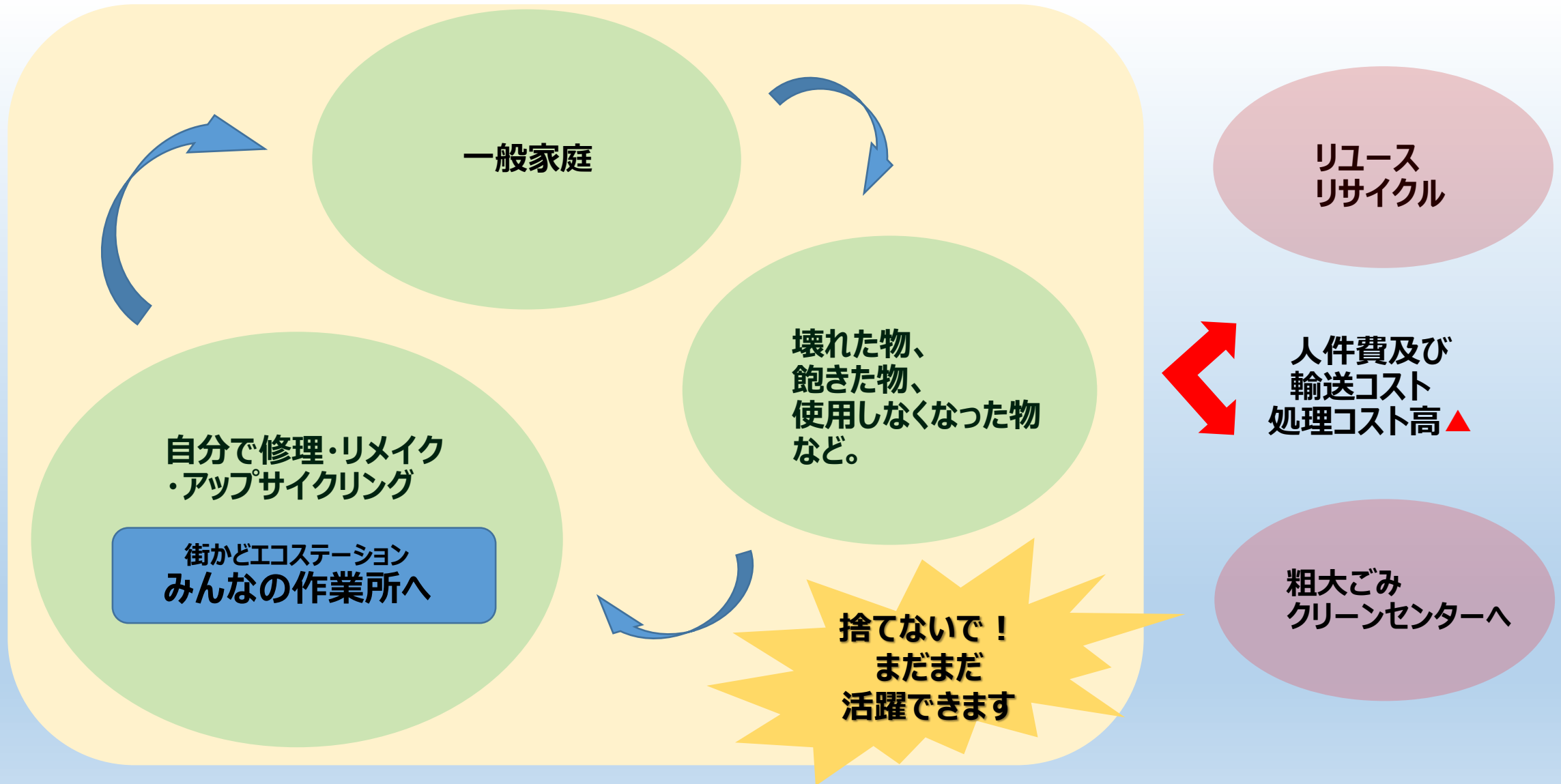
Recycle（リサイクル）：「再生利用、新たな生産物へ」

+ Repair（リペア） 「壊れたものを使えるものへ」

※アップサイクリング：廃棄物、役に立たない不要な製品を、より良い品質、または製品にアップグレードして役立てること。



# 物を大切にして、粗大ごみを出さないライフスタイルの提案



# Repair (リペア) アップサイクリング = 昔に戻ろう =

粗大ゴミにせず、直して使う。  
廃材などを使い物を作る。

作業所にて工具の使い方、  
簡単な修理の指導など、直  
すためのアドバイスを行う。



## 作業実例 1 (2時間)

新しいもの買う前に  
リメイクしてみよう。



捨ててあつた椅子を  
拾ってきました。

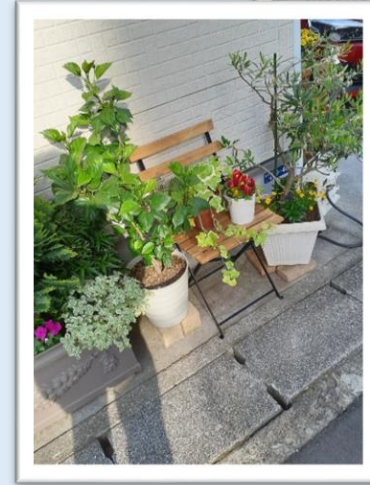
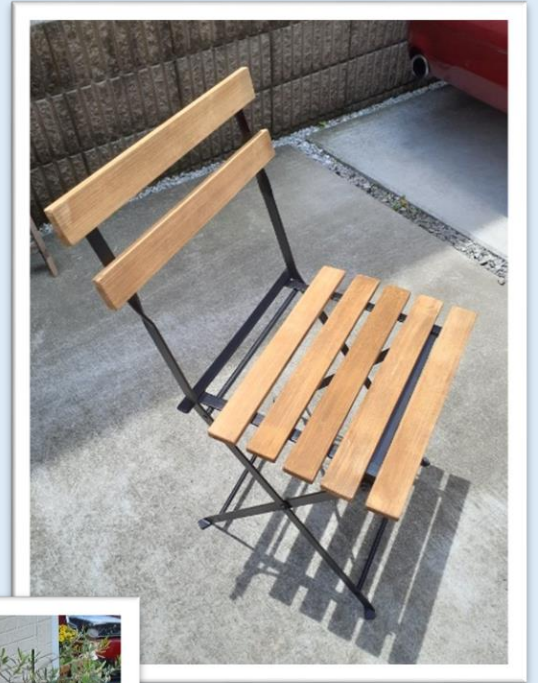


頑張って、  
直してみよう。

木を外して、  
塗装をし直し  
て...



木材 (¥800)  
も切断後、表面塗装  
して...張り直し。



蘇りました。  
お洒落に  
ガーデニン  
グに使いま  
した！

## 作業実例2 (1~2時間)

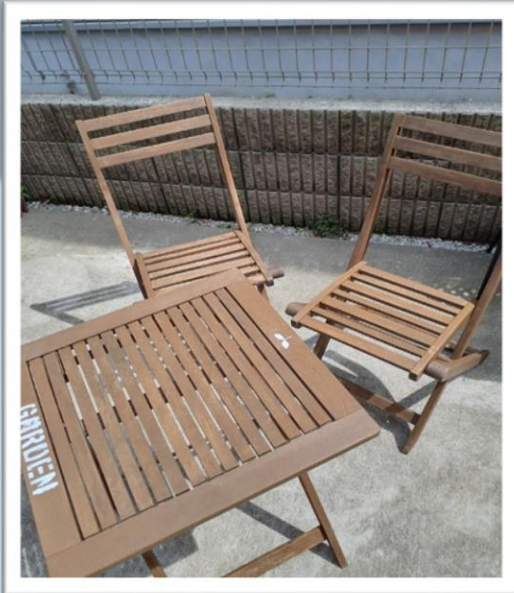
新しいもの買う前に  
リメイクしてみよう。



ステンシルで  
ちょっとお洒落し  
てみました。

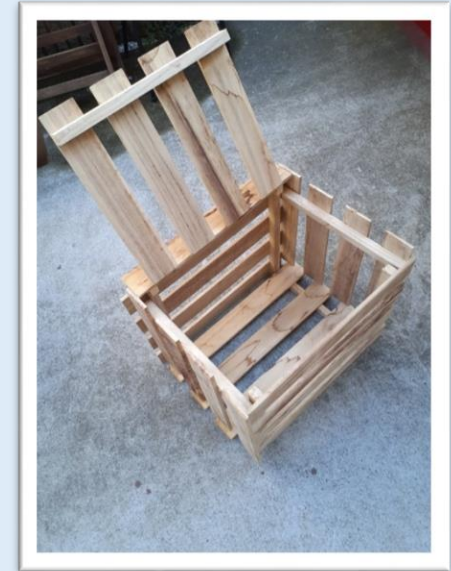
これも結構、  
表面がすすけ  
てきてます…

まずは表面を  
削って…  
塗装して…  
(塗料¥500)



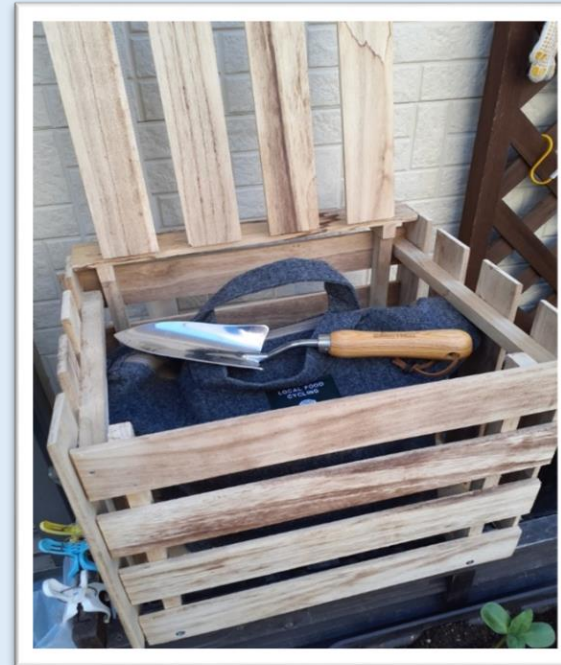
処分するとい  
うのもらっ  
てきた、すのこ。

電動ノコで裁  
断し、箱型に  
再生。(接  
着剤、釘、蝶  
番 500円)



お洒落なコン  
ポスト入れが  
出来ました。

布製のコンポ  
ストは風通し  
が必要なので  
バッチリ！



# 情報発信 行政との連携 =現状認識=

市川市だけではなく、日本、世界の環境問題についての情報を共有

生ゴミ削減の成功例の共有や、ゴミ分別の理解を深め、ゴミを減らす輪を広げる



町田市バイオエネルギーセンター  
建設工事の様子

【ごみの減量・資源化にご協力ください！】

1人1日 あたりの 総ごみ量	2020年度	2030年度 目標
	776g (前年度比+8g)	714g

多摩市の1人1日あたりの総ごみ量 (2019年度)

1位 (北多摩郡)	619.4g
11位 町田市	776.2g
18位 (東京都)	1,187.9g

目標まであと 62g 減量！

※1日あたり1kg以内のごみを出すと、2019年度まで4kg(1袋)のごみ減量とさせていただきます。

※2019年度からの自治体の総ごみ減量は累計目標へ向かっています。

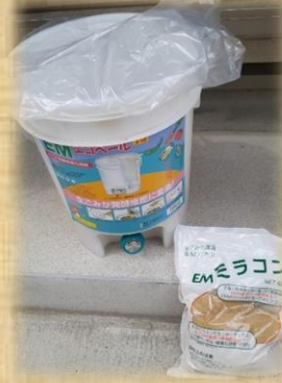
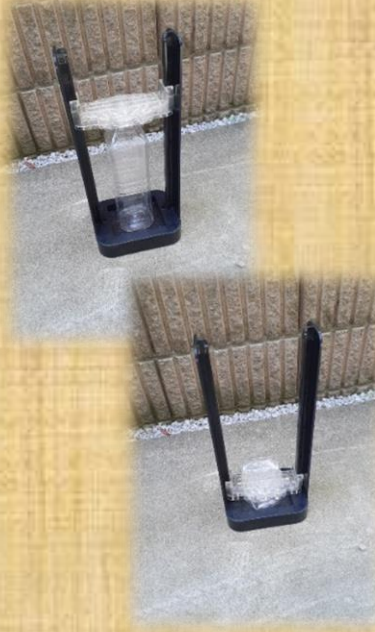
※このままでは、町田市のごみ削減目標に達成しきれなくなっています。

※この減量には小さなお家の環境が関係しています。積極的に協力をお願いします。

お付けください

- 生ごみを出す際には、十分に水切り
- 食品は新聞紙などで包み込んでお持ち帰り
- 資源物とごみの分別

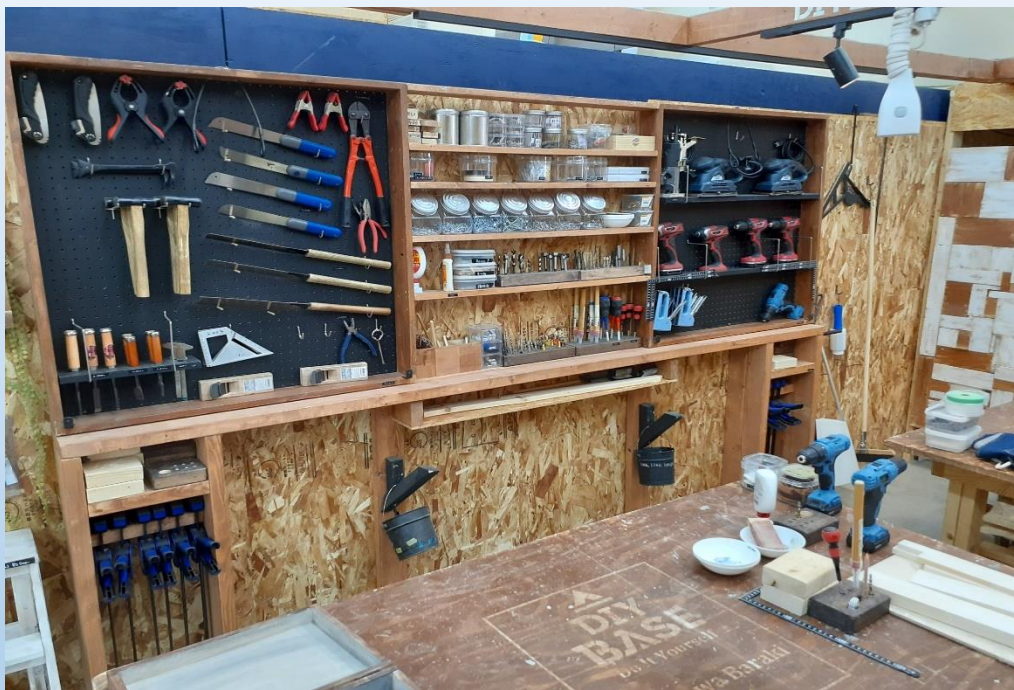
ご参考：  
町田市の情報発信





## 街かどエコステーション 「みんなの作業所 (仮称)」開設にあたって

### 必要な設備 (作業場、工具)



### マーケティング

地元メディア、SNS、YouTube配信など

### 事業の継続性

#### 収入

作業指導、工具の貸与代金

1時間 500円～

家具などの修理、リペア、リメイク販売

コンポスト等販売 (助成金の活用)

#### 支出

①人件費 当分なし

②店舗家賃、光熱費

③その他

## 目標：物の贅沢から心の贅沢へ

### ゴミ（粗大ごみ・生ごみ）を減らそう！アップサイクリングのススメ

民間：物を大切に長く使うことで、不用品としての廃棄物が減少すること

：アップサイクリングにより市民生活のコストが下がること

：市民が主体的に取り組むことにより、環境問題に対する理解が一層深まること

行政：ゴミ回収・処理の量を削減できること

：行政、清掃事業に対する市民の理解が深まること

#### ※ステークホルダー

市民

行政：市役所 企画部、環境部、市川市清掃公社など